

いよいよ私学入試！

◇前日◇

- ・ 集合時間・電車の時刻を確認する。
- ・ 受験票や、“受験上の注意”に、目を通しておく。
- ・ 持ち物と服装を点検する。
- ・ 学習は、ポイントの確認程度に。
- ・ 早めに寝る。
(すぐに寝つけなくても、横になって目を閉じているだけでもよい。)



◇試験当日◇

- ・ 余裕を持って、早めに起きる。
- ・ 朝食は必ずとり、トイレも済ませる。
- ・ 検温・健康チェックが必要な人は、忘れずに。
- ・ 体調が悪いときは中学校に連絡。
(高校と連絡を取り、別室・別日などの対応をしてもらいます。)
- ・ 持ち物をもう一度点検。
- ・ 集合時間の30分前には高校に着けるように家を出る。
- ・ 友達と待ち合わせをして行く場合、誰かが遅れた時は、時間を決めて先に行く。
- ・ 駅に先生方が居られるので、困ったことがあれば相談する。

＊ 通勤と重なって、電車がかなり混むこともあります。

10日は平日、11日は日祝日のダイヤになるので、間違えないように気をつけましょう。

特に、阪急京都線の「北千里」方面と「高槻市」「京都河原町」方面、普通と特急などの乗り間違えをしないよう、確かめて乗車しましょう。

＊ 自家用車で行くのは避けましょう(交通渋滞などが考えられるため)。

＊ 途中で何かあっても冷静に判断して行動しましょう。

どうしても困ったら、十三中(06-6301-2855)に電話をしてください。

例えば、途中で忘れ物をしたことに気がついたとき、時間があれば取りに戻ってもいいですが、時間がなければ中学校に連絡してください(中学校から受験校に連絡をとります)。



◇受験校では◇

- ・ 高校に着いたら、まず掲示物に注意。(注意事項、座席表、予定などが書いてあることがあります。)見落とし、放送の聞きもらしのないように気をつけましょう。
- ・ 次にトイレの場所を確認し、早めに行っておきます。
(「後で。」と思っていたら混んでいて、結局1時間がまんするはめになるかも…。)
- ・ 試験が始まるまでは、心を落ち着け静かに待ちましょう。
- ・ 休み時間の過ごし方も気をつけましょう。試験のできばえや答え合わせの話は避けましょう。
- ・ 体調が悪いなど、困ったことがあれば高等学校の先生に申し出ましょう。

◇テストに臨んで◇

- ・ 監督の先生の指示をよく聞く。
- ・ 「始め」の合図の前に筆記用具をいじったり、近くの人としゃべったり、目を見合わせたりしているのは、不審な行為です。
- ・ 寒いからといってポケットの中に手を入れてカイロをにぎったりしているのも、不審な行為とみられることがあります。

※ 解答用紙に受験番号、氏名をていねいに書く。

※ 時間配分を考えて、やさしい問題から解答していく。

※ 時間が余ってもきよろきよろしない。

※ 最後まであきらめず、何度も見直しをする。

テスト中に寝るのは「やる気がない」と言っているようなもの。

※ 筆記具を落としたり、質問があつたりする場合は、静かに手を挙げる

※ 筆記用具などの貸し借りは禁物。



- ・ 試験終了後は、答案に絶対記入しない。

係の先生からの連絡や掲示物(今後の連絡・合否の発表・入学手続きなど)に注意し、必要ならメモをしておきましょう。

◇答案は◇

「読んでもらえる答案」を意識して丁寧に書きます。

- × 乱雑な字
- × 消しゴムで消したつもりが消えていない。
- × 一ヶ所消したつもりが、まわりも消えてしまっていた。
- × くせ字で他の字に見える。
- × 極端に小さな字、薄い字など



◇試験の後◇

- ・郵送で結果が届く学校がほとんどです。
落ち着かない気持ちはわかりますが、ぐっとがまんして、授業などもきちんと受け、平常心で生活しましょう。携帯等は、持ってこない。結果が気になる人は家の人に学校に電話してもらいましょう。
- ・結果がわかったら、翌朝 必ず 担任の先生に報告をしましょう。
- ・受験票は手続きが全部終わるまで、大切に保管しておきます。勝手に捨ててはいけません。

【合格の場合】

- ・手続きの方法・期限・登校日など、要項をよくみて確認しておきましょう。
- ・専願者は入学金を期限までに納入してください。
- ・「合格」で全て終わりではありません。中学校を卒業するまで、責任をもって行動しましょう。

【不合格の場合】

- ・不合格の原因には、運もあります。投げやりになったり、極度に悲しんだりしないようにしましょう。
- ・じっくり対策を考え、次の目標（公立高等学校など）に向けて努力しましょう。



確認しよう

持 ち 物	前日の夜 チェック	当日の朝 チェック
受験票（注意をよく読んでおく）		
受験の注意等のプリント（よく読んでおく）		
健康カード（必要な場合）		
鉛筆やシャープペンシル数本		
消しゴム（2個）		
直定規・コンパス		
下敷き（使用禁止の学校も多いので注意）		
時計（スマートウォッチ、音が出るもの、計算機能付きは禁止。）		
生徒手帳（受験校の電話番号、受験番号を控えておく。）		
体育館シューズ（上靴として必要があれば）		
下足袋		
ハンカチ・ティッシュ		
弁当・水筒（必要があれば。外に買いに出ることはできません。）		
電話代（テレホンカード）		
交通費（何があるかわからないので、少し余分に）		
雨具（必要に応じて）		
薬（風邪・喘息・頭痛・乗り物酔いなど必要に応じて）		
カイロ（念のため、かばんの中に入れておくだけでも安心。）		
服装（名札や校章・組章も）・頭髪・爪などはOK？		
実技などのある人はその準備		

- ※ 学校によっては必要ないものもあります。
- ※ また、ここに載っていないものが必要な学校もあります。
- ※ 受験上の注意や受験票をよく見て、忘れ物のないように準備しましょう。
- ※ 携帯電話は持って行ってはいけません。